令和２年度鳥獣対策優良活動表彰

農林水産大臣賞（被害防止部門（個人））

北村　富生

獣害対策取組事例の報告

はじめに

（里山が崩壊し始めた）

　昭和35年（1960年）を境にエネルギーが石油に変わり、燃料であった薪の需要は消滅し、山林の柴かきもなくなり、人は山に入らなくなりました。

　そのため、サルやイノシシと人間の間にあった緩衝地帯が山側の雑木林から農耕地帯に移り、農耕地に出没するようになり、農作物の被害が年々増加するようになってきたのです。

鹿も山奥から流れる砂防河川を伝い町内まで降りてきました。

大きな角の鹿です。

平成21年、イノシシが田畑に頻繁に出没するようになり被害が多発しはじめたため長浜市の「鳥獣害支援事業補助金」で箱罠（イノシシ捕獲檻）を作製し設置しました。

箱罠（イノシシ捕獲檻）の設置と管理は、滋賀県猟友会長浜支部の皆さんにお願いしました。

ロケット花火発射実演（22人参加）

撃ち方ヨーイ！・・　構えて！・・
放て！

獣害対策

防護柵設置事業

H23/3～H30/11

鳥羽上北町自治会　防護柵設置委員会

長浜市鳥羽上北町は、市南東部、長浜市と米原市にまたがる横山山麓中央部に位置する農村集落です。

横山山麓地域でのワイヤーメッシュでの防護柵設置工事は、当集落が初めてで、技術指導もなく、試行錯誤を重ねての作業でした。

○次に示す航空写真の赤線は、平成23年から28年の6年間にわたり3,355mの獣害防護柵を設置したラインです。
○黄色の点線は、県道224号線（大野木・志賀谷・長浜線）の管理地で設置が困難なため、ワイヤーメッシュ敷き詰めているラインです。
○黄色の線は隣町が設置された防護柵のラインです。
○集落中央の赤丸は、自治会会議所です。
○防護柵設置作業は9か所の工区に分けて設置しました。

H23～H28 防護柵設置 延長3,355m

480m 本庄込田工区（24年度）

85m 本庄込田工区（25年度）

520m 番谷・水打工区（平成26年度）

200m八幡神社工区（平成28年度）

氏神様の八幡神社境内にイノシシが侵入したため、設置しました。

6年間取り組んできた、延長3,355mの平成の長城（獣害防護柵）が完成しました。
これで終わりではありません。保全管理をしっかり実施しないと防護柵はイノシシ、鹿の進入、風水害などの自然災害、雑草の繁茂、倒木などで破損します。

これからも、獣と自然災害の戦いが続きます。